

在外教育施設シニア派遣教師推薦書入力上の注意

- ・本推薦書は、選考に際しての基本資料とするので、取扱には十分注意すること。
- ※ 「令和8年度及び9年度在外教育施設シニア派遣教師募集要項」 8（応募方法）の提出上の注意点を確認すること。
- ・本推薦書は、下表「被推薦者の現況」に応じて、下表に示された「推薦者」が作成すること。
- ※ 現況に応じて複数の推薦書が必要な場合がある

被推薦者の現況	推 薦 者
令和6年度末までに退職した者の場合	〔退職時に教育委員会所属だった場合〕 ・所属元の教育委員会に在籍する課長以上の方 〔退職時に学校長だった場合〕 ・所属元の教育委員会等に在籍する課長以上の方 〔退職時に学校に籍をおく学校長以外だった場合〕 ・退職時に所属していた学校に現在在籍する学校長 〔退職時に私学（学校法人）所属だった場合〕 ・学校長：学校設置者（理事長等） ・学校長以外の教師等：退職時に所属していた学校に現在在籍する学校長 + 〔退職後に再任用又は非常勤（常勤も含む）で勤務している場合〕 ・現在の勤務先の所属の長。ただし、教育委員会、学校長については、上記に準じ教育委員会に在籍する課長以上の方 ※ <u>退職時のものに加えて本推薦書が必要。</u>
令和6年度末までシニア派遣教師として勤務していた者の場合	〔派遣職種が校長だった場合〕 ・派遣先在外教育施設学校運営委員会委員長 〔派遣職種が教頭又は教諭だった場合〕 ・派遣先在外教育施設学校長 ※ 「令和6年度末までに退職した者の場合」に加えて本推薦書が必要。（今年度再任用で勤務しているのであれば、退職時、本推薦書、再任用時の推薦書が必要。）
派遣希望年度の前年度までシニア派遣教師として勤務する予定の者	〔派遣職種が校長の場合〕 ・派遣先在外教育施設学校運営委員会委員長 〔派遣職種が教頭又は教諭の場合〕 ・派遣先在外教育施設学校長 ※ 「令和6年度末までに退職した者の場合」に加えて本推薦書が必要。
退職予定の者の場合	〔教育委員会所属の場合〕 ・所属先の教育委員会の課長以上の方 〔学校長の場合〕 ・所属先の教育委員会等の課長以上の方 〔学校に籍をおく学校長以外の場合〕 ・所属先の学校長

(推薦書提出の例)

例 1. 令和 6 年度末に校長として退職し、令和 7 年度から再任用で教諭として勤務している場合

- ① 退職時の所属元の教育委員会に在籍する課長以上の方
② 現在所属している学校の学校長
- } この 2 通が必要

例 2. 令和 3 年度末に教諭として退職し、令和 6 年度末までシニア派遣教師（教諭）として勤務しており、令和 7 年度から常勤講師として勤務している場合

- ①退職時に所属していた学校に現在在籍する学校長
②派遣先在外教育施設の現在の学校長
③現在所属している学校の学校長
- } この 3 通が必要

欄① 「推薦理由」欄の右欄は、次の事項のいずれかを必ずプルダウンリストから選択すること。

ア 在外教育施設の教師に十分貢献できる教師として自信をもって推薦する。

イ 在外教育施設の教師として、普通程度である。

ウ 在外教育施設の教師として、やや心配な面がある。

（ウの場合、心配な点を下の特記事項欄等に入力すること。）

欄② 「教職に対する態度・能力」及び欄③「服務に対する態度」の「評価」には、児童・生徒に対する指導力等の各事項等についての評価(絶対評価)を、下記の表による 10 段階の点数からふさわしいものをプルダウンリストから選択すること。「特記事項」には、特記すべき事項その他特に参考となる事項を入力すること。

評価	点数
特に優秀	10～9
優秀	8～7
普通	6
やや劣る	5～4
劣る	3～1

欄④ 「研修に対する態度」欄には、学校内外で実施される研修への参加状況や熱意、校内での還元状況等について入力すること。管理職で応募している者については、「管理職としての資質（職員に対する指導力等）」とすること。

欄⑤ 「健康面」欄には、日常的な体調や体力等の健康状況や既往歴（過去の病気休暇取得状況を含む）について入力すること。また、在外教育施設での勤務を考慮し、日頃のメンタルヘルスの様子についても入力すること。

欄⑥ 「その他」欄は、性格上の長所・短所、日常の生活態度等について入力すること。

欄⑦ 推薦者の所属・連絡先等欄は、電話番号を必ず記載し、推薦者として推薦できる者である場合は□に✓を入力すること。また、選考段階で、文部科学省担当者から、当該教師に関することについて、直接問い合わせることがあるため、御協力いただきたい。

- ・ 本推薦書以外に、海外子女教育関係団体等派遣志願者の資質を知る第三者からの推薦書（様式任意）を添付することができる。